

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書

(モデル校名 愛知県東海市立加木屋小学校)

1 学校の概要 (平成15年4月現在)

東海市立加木屋小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特設学級	計	教員数
学級数	2	3	2	3	3	3	1	17	24
児童数	50	88	78	81	92	87	3	479	

2 研究の概要

(1) はじめに

「総合的な学習の時間」の重点課題として、「日本や諸外国の文化を理解し、尊重でき、国際人としての資質を身につける」を掲げ、愛知県教育委員会より研究委嘱された「英語活動等国際理解教育の推進」にも合わせて取り組んだ。本校としてのサブテーマを「英語活動と伝統文化習得活動、国際交流活動を三位一体とした国際理解教育の推進」と設定し、子どもたちの主体性、共生の心、伝え合う力の育成をめざした。

(2) 取り組み内容

- 英語活動…学級担任とALTのTTによる年間20時間の英語活動を全学年に導入し、それにとりまわす教育課程を編成し、カリキュラム・教材・指導法の開発と検証を行う。
- 伝統文化習得活動…3年生は学年のテーマである地域学習、4～6年生は児童のコース選択制による伝統文化習得活動を年間15時間導入し、昔から日本や地域に伝わる伝統文化に親み、体得しようとする活動を推進する。
- 国際交流活動…5～6年生を中心に、年間35時間の計画で外国の情報や考え方や自分の国の様子を調べたり、伝え合ったりする活動や外国人との交流活動を行い、英語活動や伝統文化習得活動で得た異文化理解を確かめ、英語を含めたコミュニケーション能力発揮の場とする。

(3) 成果と課題

- 英語活動…コミュニケーションをとることが苦手だった子どもたちも英語活動で活躍できた体験を元に、教科の学習でも意欲的に取り組む子どもが目立つようになった。また、英語活動にインプットをねらいとしたToday's Topicsと、アウトプットをねらいとしたKid's performanceまた、子どもの活動意欲を一層うながすためのStrong pointを入れた1時間の活動の流れを新しく作り、英語活動の基本パターンを考えることができた。今後はその日のテーマとなる文型の表現活動はもちろん、ゲームや歌も含めて活動する目的と意味を分からせながら取りまわしたり、単純なドリルから徐々にコミュニケーションとしての機能をもたせたりして、最終的には自分で考えて言葉を使う段階まで意図的に設定していきたい。そして、中学校での英語学習への接続と連携についても模索していきたい。
- 伝統文化習得活動…地域の人ののかかわりから伝統文化への興味・関心が高まり、ものの見方や生活の知恵を吸収することができた。また、目的意識をもって自らコースを選んだことで、積極的に伝統文化習得活動に取り組む、習得したことを教え合うことができた。そして、地域からの期待に応え、盆踊り大会や敬老会などの行事に参加し、発表することで地域活動に対して支援、協力、貢献することができた。今後は高学年や習得の進んだ子どもが、低学年や苦手な子どもたちに伝える「リーダーシップ」やそれをしっかりと受け止める「フォロアーシップ」の指導を工夫していきたい。
- 国際交流活動…異学年交流会であるABC集会や学芸会、国際交流活動などの結果、子どもたちの中にあつた異文化や外国人への特別な意識が徐々に薄れ、進んでコミュニケーションをとろうとする子どもが増えてきた。新設されたグローバル委員会の活動や集会活動が浸透し始め、新設した「わあるどストリート」や「学習コーナー」で立ち止まる子どもの姿が多く見られ、自国と外国の文化や考えなどの相違点や類似点に興味をもち始めた。今後は調べたことや交流内容を発表したり、指示を出したりするのに適した声量や発表態度など、発表のノウハウや表現力を他の教育活動と連動させながらより一層向上させたい。

(4) おわりに

10月に催された国際交流会「ちがう世界を知ろう」では、東海市内の他校のALTや国際交流協会派遣のゲストティーチャー、地域の方々をお招きし、外国の遊びを教えてくださいとにも、そのお返しとして伝統文化習得活動で習得した伝統文化の数々を紹介した。この交流活動は、子どもたちのコミュニケーション能力の発揮の場となった。また、日頃の英語活動で習得した英会話を活用する絶好の機会ともなり、子どもたちの活動意欲はより一層高まり、様々な表現方法の工夫が見られた。今後とも、各活動で学んだり身につけたりした知識や技能、交流の心が、子どもたちの主体性を引き出し、共に活動する楽しさや互いに伝え合う喜びを育成していきたい。

教育基本法 学校教育法
中教審答申 教科審答申
小学校学習指導要領
愛知県教育委員会基本理念
とうかい教育夢プラン
東海市教育委員会の指導

学校教育目標
豊かな心を持ち、たくましく生きる子ども
○元気で… 心もからだも たくまし子
○仲よく… 思いやりの心を持ち 礼儀正しい子
○真剣に… よく考え 自ら学ぶ子

子どもの実態と思い
保護者地域の願いと思い
地域の実態
社会の要請
教師の願いと指導観

教育課程編成上の基本方針
① 総合的な学習の時間を中核として、「生きる力」を育成する教育課程を編成する。
② 総合的な学習の時間と各教科・道徳・特別活動との関連・往還を図る。
③ 教科の基礎基本の完全定着を図ると共に応用力や問題解決能力を意欲的に取り組む。
④ 指定研究課題を主体的に受け止め、実践的・体験的学習活動の充実を図る。
⑤ 開かれた学校の一層の推進と伝統ある地域の教育力を取り入れた教育活動を展開する。

研究テーマ
「進んで人とかわり 自分の思いを豊かに伝え合う子どもの育成」
ー 英語活動と伝統文化習得活動、国際交流活動を三位一体とした国際理解教育の推進 ー

総合的な学習の時間の目標	① 学び方やものの考え方を身につけ、学んだことを生かし自分で判断して行動できる ② 日本や諸外国の文化を理解し、尊重でき、国際人としての資質を身につける。 ③ お互いの違いを尊重し、自分の思いや考えを意欲的に表現できる。			
めざす子ども像	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に課題を見つける子ども（発見力） ・学んだことを関連づけ、課題を様々な方法・考え方で追求し、自分の力で問題を解決しようとする子ども（解決力） ・積極的に人とかわり、自分の思いや考えを自分らしく表現しようとする子ども（かかわる力） ・学習した結果や身につけた力を生活や学習に生かす子ども（活用力） 			
学年テーマ	3年	4年	5年	6年
と活動内容 30～35時間	<p>地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住む地域に興味をもち、進んで問題を見つけようとする ・友達と協力し、地域の人たちから情報を得ようとし、学んだことをまとめ発信することができる。 	<p>福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉について興味をもち、障害をもつ人々と進んで交流し、励まし合い、分かち合い、共に伸びようとする心を養い、学んだことを実践しようとする。 	<p>食と国際理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食から世界に興味をもち関心を抱いた課題について、調べようとする ・課題にあった情報を集めたり、読みとったり、まとめようとする。 	<p>自分と国際理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分や自分の周り地域、国、世界を見つめ、関心を抱いた課題を調べようとする ・自他を尊重し合い主体的に人とかわり、自分の意見をもち、伝えようとする。
英語活動 20時間	東海市英語教育計画の実践 ・ALTと担任によるTT授業を通して、明るく楽しい英語活動に取り組み、主体的に英語に親しみコミュニケーション能力を身につけようとする。			
伝統文化習得活動 15時間	3年	4～6年		
		<p>地域学習の一環として、単元的に伝統文化を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、自ら選んだ日本や地域の10コースの伝統文化習得に仲間と共に取り組み、継承しようとする。（地域の方のボランティア講師を積極的に活用させていただく。） <p>日本文化… 御殿万歳 まつりばやし 盆踊り 百人一首 お茶 地域の生活文化… 竹折り紙 加木屋の農業 囲碁 新文化の創造… 和太鼓（創作） 盆踊り・民謡（一部創作）</p>		
東海市独自のテーマ 35時間	<p>生きるために必要な東海市独自の地域性を生かしたテーマの追求</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内を流れる愛知用水をはじめ、人間が生きるために欠かせない水や川をテーマとした環境学習 ・郷土の偉人・細井平洲先生の教えや人となりを訪ねながら、ふるさと東海市を見つめ直す郷土学習 ・命の尊さやお年寄りとの交流から生きることのすばらしさを考える生命をテーマとした学習 			
	水の大切さ 19 トマトジュース 10 生と死 6	愛知用水 26 生と死（2分の1成人式） 9	水のない生活 11 水源地 4 平洲先生を学ぶ 10	排水と廃水 27 生と死 8
全校統一のテーマ 5時間	<p>福祉実践教育（2時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉について関心と理解を深め、福祉実践教室で障害のある人の話を聞いたり、車いす、点字、手話、盲人ガイドヘルプなどの体験活動を通して、障害をもつ人に対する接し方や相手の気持ちを考える大切さを学ぼうとする。 <p>人権教育（3時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権週間の人権集会を開き、思いやりや男女についての話し合い活動を通して、互いに人として認め合い、尊重することの大切さを学ぼうとする。 			

道 徳 教 科 特 別 活 動